



日本万国博覧会記念基金
2023年度
助成事業募集説明会

2022年7月27日(水)
15:30～

大阪工業大学 梅田キャンパス
OIT梅田タワー 常翔ホール

2023 年度

日本万国博覧会記念基金

(EXPO'70 FUND)

助成事業募集要項

① 複数年度助成事業

② 単年度助成事業

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

KANSAI・OSAKA 21st Century Association

日本万国博覧会記念基金助成事業 2023年度募集説明会 次第

1. 日本万国博覧会記念基金の概要
2. 2023年度助成事業募集について

(配布資料)
募集要項

■ 日本万国博覧会記念基金事業

日本万国博覧会の成功

入場者数：6400万人
収益金：約195億円

出展参加国をはじめとする国内外
の団体等の協力によるもの

195億円の内155億円

博覧会の収益金の
一部を基金として管理

「人類の進歩と調和」の
理念を未来に継承

博覧会の成功を記念
するにふさわしい事業
へ活用

日本万国博覧会記念基金事業による助成金交付

■ 日本万国博覧会記念基金事業による助成金交付

1970年万博の理念を継承し「日本万国博開催の意図」の趣旨に適った活動を支援

基金事業では、1970年万博のテーマ「**人類の進歩と調和**」に込められた未来社会に向かって調和のある進歩という願いを受け継ぎ、国内外の公益的な活動に助成金を交付し事業支援を行っています。

【基金】
1970年万博の
収益金
約190億円
(当初155億円)

50年間
194億円

国際相互理解の促進に資する活動

文化的活動

日本万国博覧会記念基金事業の 助成対象分野

日本万国博
覧会記念基
金助成事業
＝国際相互理
解の促進に資
する活動への
助成

団体への
助成

単年度助成事業

- ①国際交流に寄与する活動
- ②国際協力に寄与する活動
- ③教育に関する国際的な活動
- ④学術に関する国際的な活動

優先採択
テーマ

- ①2025万博関連
- ②SDGs教育関連

複数年度助成事業

上記①～③の活動

個人への
助成

EXPO '70 スカラーシップ
(日本伝統文化研究奨学金)

募集要項の説明

1. 助成事業募集にあたっての注意事項
2. 申請書記入にあたっての注意事項

1. 助成の対象となる活動(P1)

万博の成功を記念するにふさわしく、

「日本万国博開催の意図」の趣旨に適った次の活動。

国際国際相互理解の促進に資する活動

①文化交流、国際親善に寄与する活動

- ・国際交流に寄与する活動
- ・国際協力に寄与する活動

②教育・学術に関する国際的な活動

- ・教育に関する国際的な活動
- ・学術に関する国際的な活動(単年度助成事業のみ)

学術に関する国際的な活動（単年度助成事業のみ）

国際会議の実施については、重要でありながら運営資金が不十分とされている次の分野を対象とします。

- ・自然科学の基礎的な研究に係る国際会議（主に理学分野を対象とし工学や医学分野は対象外）

※国際会議は、複数年度助成事業で申請できません。

優先採択テーマ

2025年大阪万博に向け、1970年万博の理念を継承・発展させ、新たな時代の価値創造へとつなぐ活動

SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」のターゲット4.1～4.7に該当する活動

「日本万国博開催の意図」抜粋

「...日本万国博が目指したものは、世界に様々な文明が多元的に共存することを、理解と寛容の精神によって認め、それらの多様性の調和の中にこそ進歩が望まれないなければならないという「**調和的發展**」の精神であった。これは**東洋思想の「和の心」を現代世界に呼び戻して東西を結ぶ新しい理念として發展**させようとするものであった...」

2. 助成の対象となる事業の条件(P2)

※不採択となる事例(抜粋)

複数年度助成事業、単年度助成事業共通

- ・国際性を伴わない事業
- ・予算書がない等、予算状況が不明な事業
- ・助成金が無くても収支の均衡が取れている事業
- ・参加費や入場料が収入に計上されておらず、
実際には利益が出ると判断される事業

※不採択となる事例(抜粋)

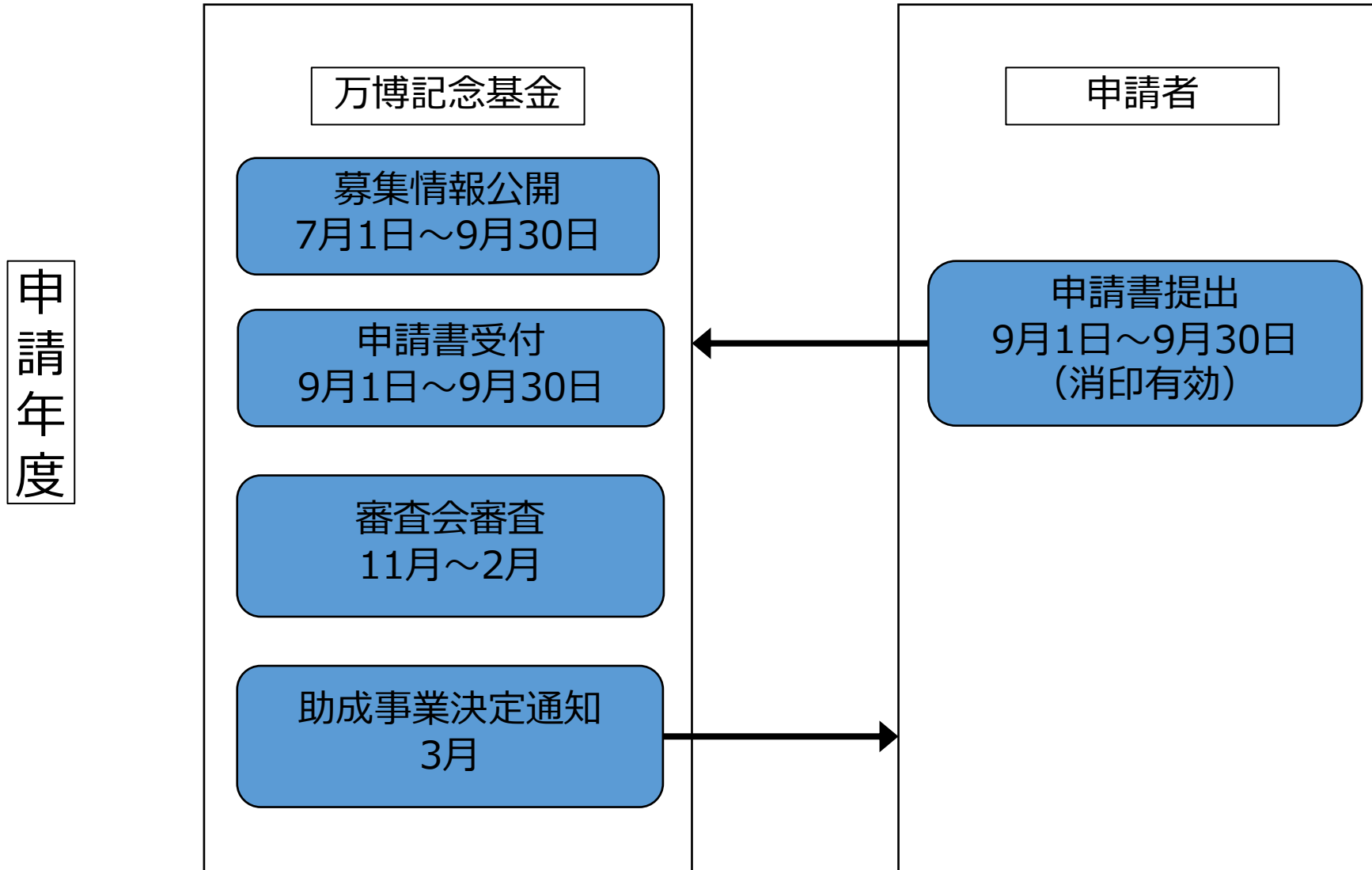
複数年度助成事業、単年度助成事業共通

- ・実施期間が助成対象期間外の事業
- ・助成金を備品購入に充当する事業
- ・自然科学の基礎研究以外の 国際会議
- ・助成金申請額が総事業費の5%以下の事業

単年度助成事業のみ

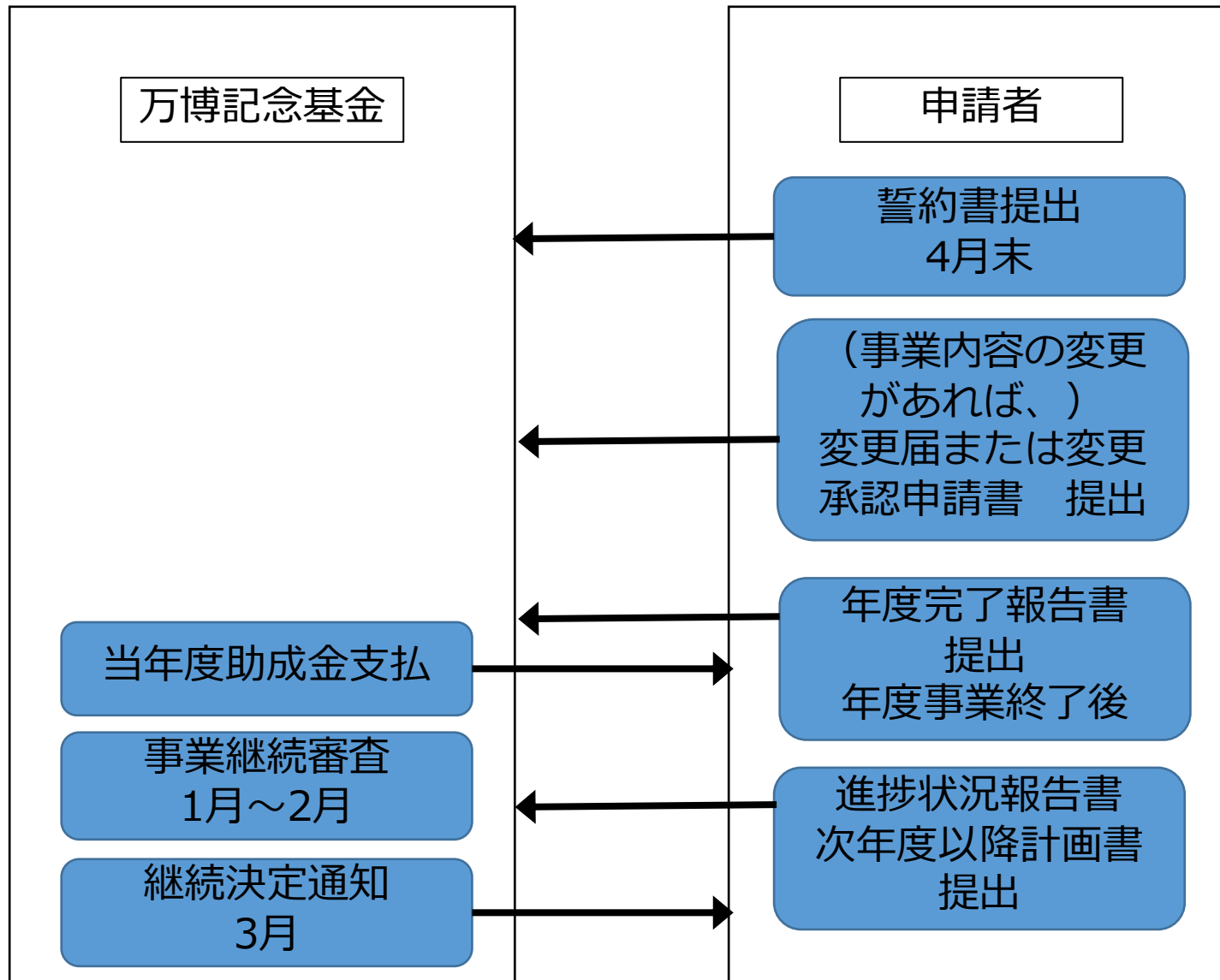
- ・施設の建設及び整備事業・施設の建設及び整備事業(複数年度助成事業では申請者が施設を所有・管理する場合に限り申請できます)

助成事業スケジュール(複数年度助成事業)



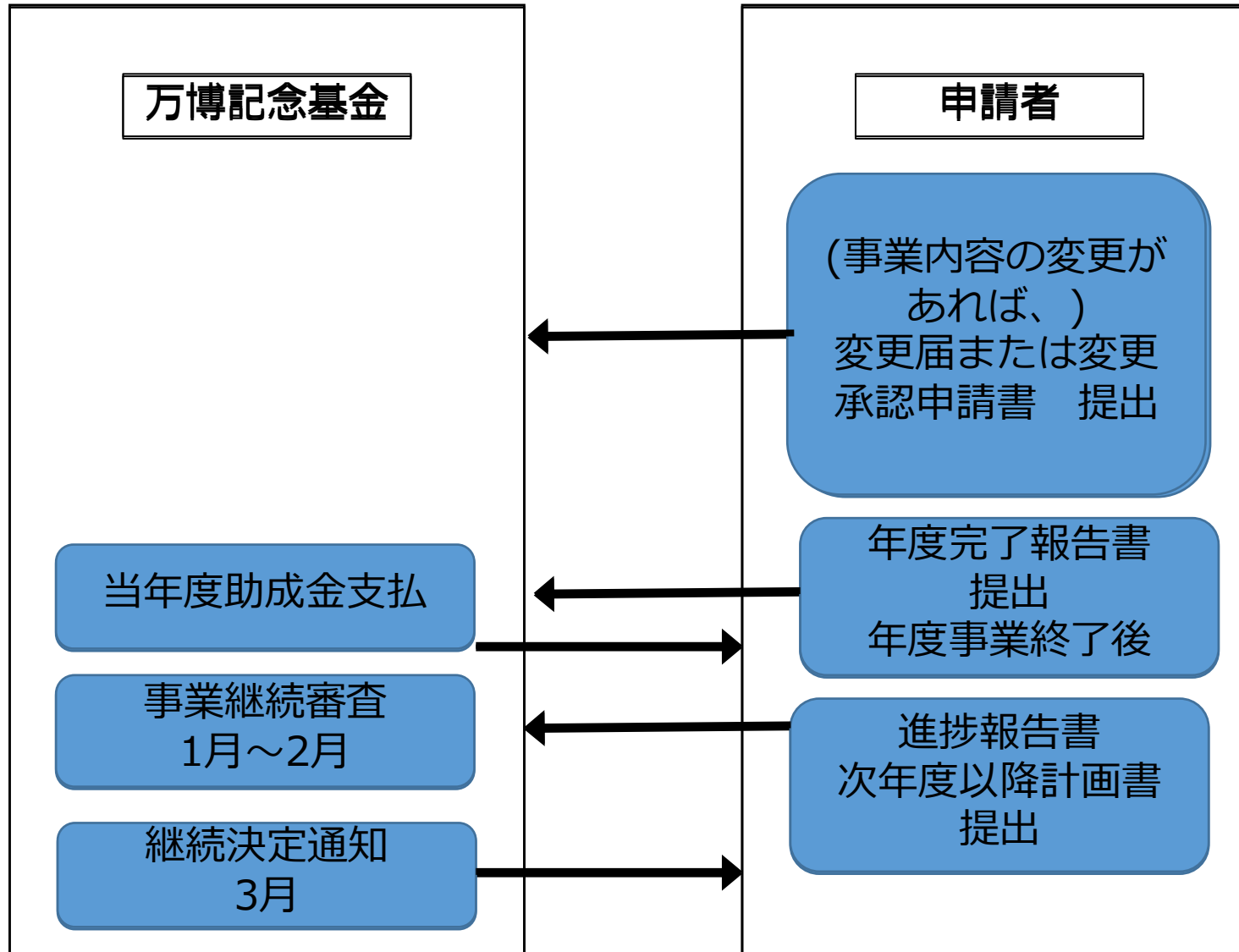
助成事業スケジュール(複数年度助成事業)

事業初年度



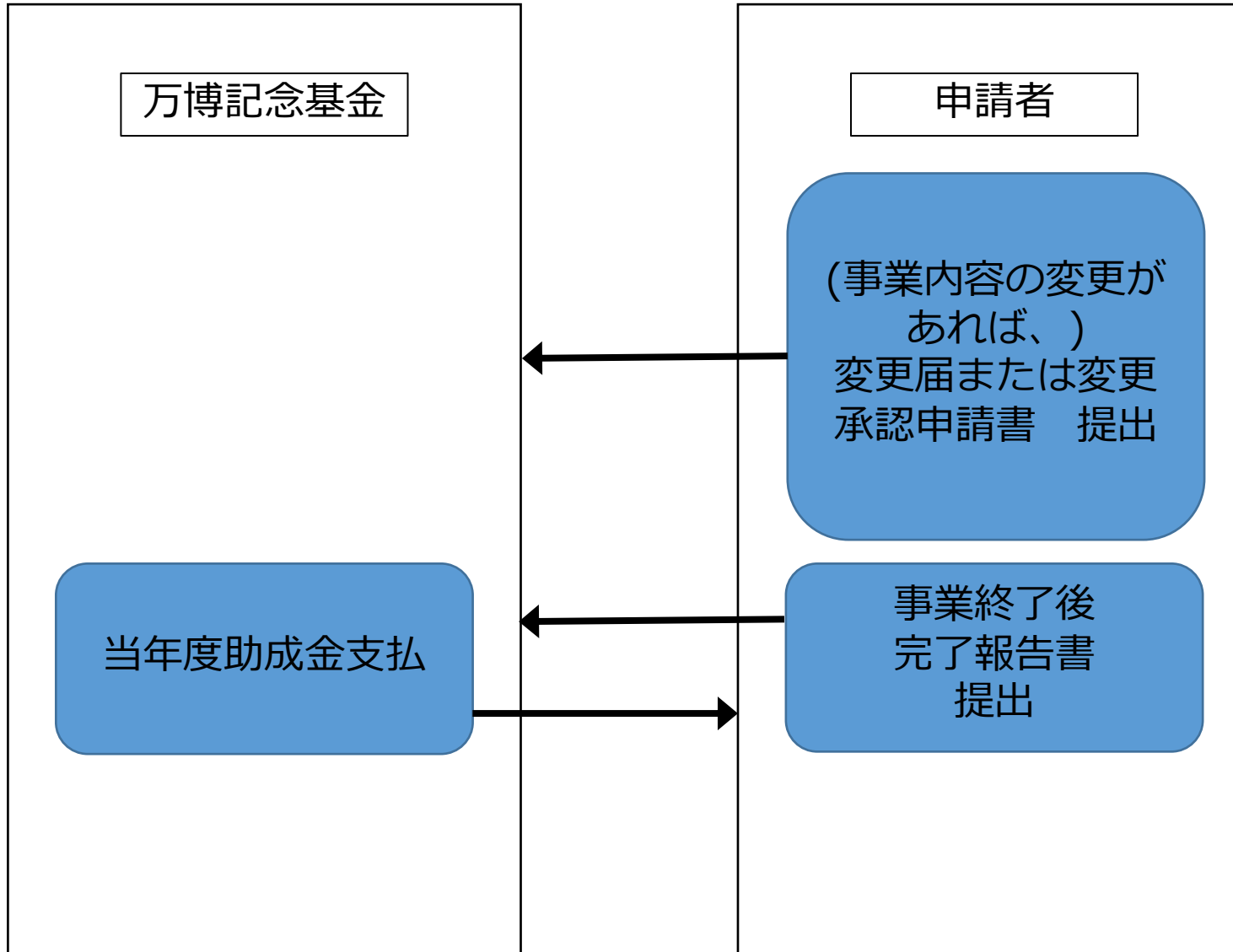
助成事業スケジュール(複数年度助成事業)

事業中間年度

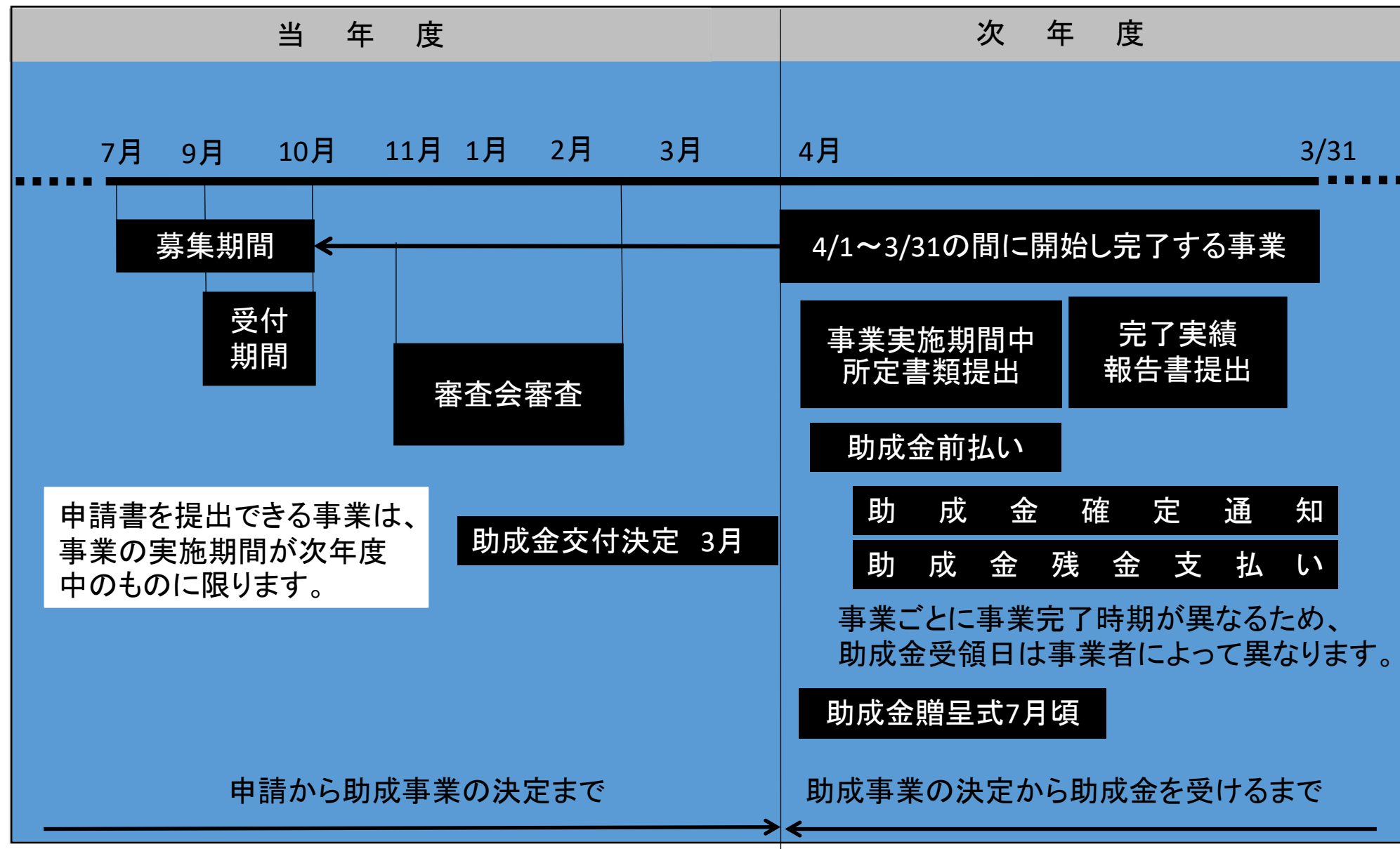


助成事業スケジュール(複数年度助成事業)

事業最終年度



助成事業スケジュール(単年度助成事業)



4. 2023年度の助成予定総額(P5)

8,000万円

(複数年度・単年度助成事業の総額
配分、比率は未定)

5. 助成金の申請(P5)

助成金は、**助成対象事業費の3/4以内の額**で申請してください。
助成対象事業費の1/4以上は自己資金等でご充当ください。

複数年度助成事業

上限額 : 2000万円(1年度の上限額1000万円)

採択件数 : 数件 (該当なしの場合があります。)

単年度助成事業

上限額 : 300万円

採択件数 : 数十件程度

収 入

万博助成金

助成対象事業費の3/4以内の額

自己資金
参加料・入場料
協賛金
万博助成金以外の助成金 等

支 出

助成対象事業費

助成対象事業費の1/4自己負担

助成対象外事業費

6. 連続申請に関して(P6)

連続採択は2年まで(2021・2022年度連続で採択された事業者は、今回申請はできません。)

※**複数年度助成事業と2025年万博事業**は、連続採択でも申請できます。

7. 申請件数の制限(P6)

同一年度で助成の対象になるのは、**1事業者につき1件(1事業)**に限ります。

複数年・単年度助成事業**両方への申請はできません。**

8. 重複申請の禁止(P6)

万博記念基金助成事業と、当協会のほかの助成事業（アーツサポート関西）は、重複して申請することができません。

9. 助成の対象となる事業の実施期間(P6)

複数年度助成事業

2023年4月1日～2026年3月31日

単年度助成事業

2023年4月1日～2024年3月31日

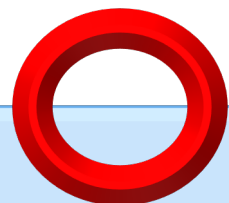
10. 助成金の支払(P6)

助成金は、原則として当該年度の事業終了後に**精算払い**

※当協会が必要と認める場合は、助成金交付決定額の**1/2以内の前払**を受けることができます。

ただし、当該年度の事業決算において、過払いとなる場合は、**返還**していただきます。

11. 助成の対象となる事業者(P7)



公益的な事業を実施する団体

(複数年度助成事業は1年以上実績が必要)

任意団体も可

(2022年6月30日までに組織された団体)



国・地方公共団体

(国・地方公共団体が実質的に実施しているとみなされる事業を行う団体)

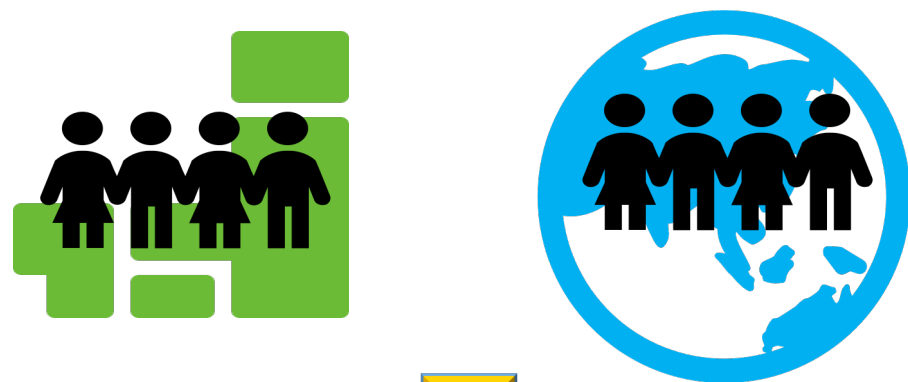
営利団体

個人

11. 助成の対象となる事業者(P7)

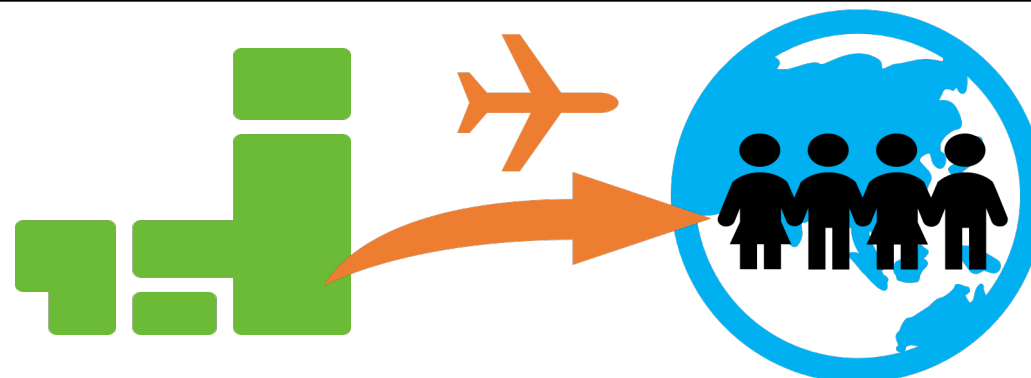
国際協力事業で申請する団体

実施地の団体の支部や事務所
のスタッフが事業に従事



実施地団体から申請

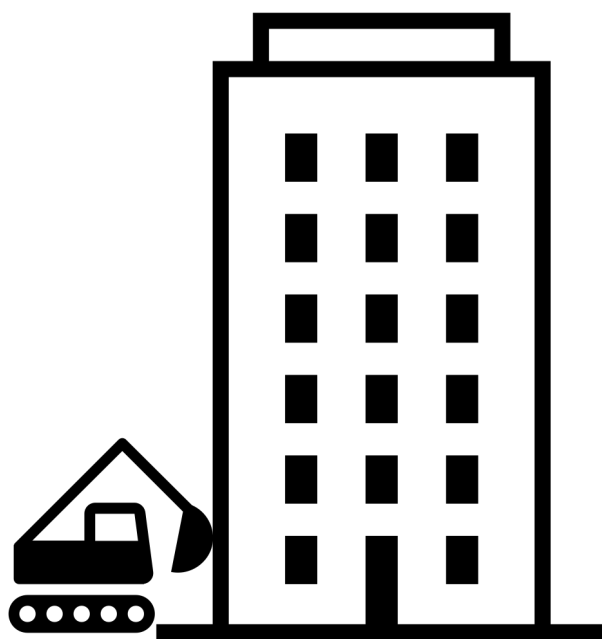
日本国内の団体スタッフが
渡航して事業に従事



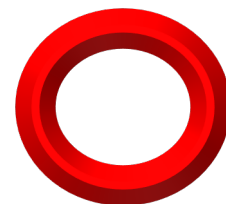
日本の団体から申請

11. 助成の対象となる事業者(P7)

施設を建設及び整備（複数年度事業）で申請する団体



完成後

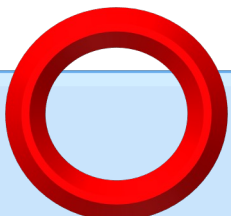


所有・管理（取得日から5年）



譲渡・寄贈

12. 助成の対象となる事業費等(P7)



事業に直接必要な経費

- ・実施期間中の経費
- ・事業者と異なる団体への支払い



経常経費

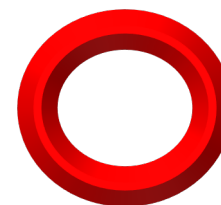
- 申請団体人件費
- 内部の出演料・謝金
- 飲食・観光等費用
- 交通費特別料金分
- 同伴者経費
- 構成団体への支払い
- 備品・消耗品費

13. 取得財産の管理期間(P8)

施設の建設及び
整備、
備品購入等
助成金で取得し
た財産



取得
後



管理(取得日から5年)



譲渡・寄贈

14. 申請事業の審査(P8)

選考にあたっての評価項目(複数年度・単年度助成共通)

事業の理念・目的

事業の発展性、社会への波及効果

万博基金助成の必要性

事業実施計画の具体性・確実性

14. 申請事業の審査(P8)

事業実施計画の具体性・確実性

- ・実施計画が具体的であるか
- ・事業者は確実に実施する能力があるか
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策は十分にとられているか
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響に左右されずに実施できるか、代替事業を準備しているか

15. 万博表示等(P8)

助成事業のために作成した広報物やホームページ等は、必ず万博表示をしてください。正当な理由なく万博表示がない場合は、助成金の減額または支払われない場合があります。

【表示例】



16. 助成金交付手続き(P9)

(1)(2)提出書類 (紙で1部)

- ・助成金交付申請書
- ・予算表・収入支出内訳
- ・定款・役員名簿・決算書(直近2回)
- ・事業計画書・企画書(複数年助成事業のみ)

全てA4サイズに統一

16. 助成金交付手続き(P9)

(3) 申請書受付期間

2022年9月1日～30日

- ・当日消印有効。
- ・受付期間経過後は理由の如何を問わず受理しません。

17. 広報活動への協力(P10)

採択された事業者は、2023年夏実施予定の
助成金贈呈式への出席をお願いします。

また、基金事業に係る記者発表や報告会等の
広報活動に可能な限りご協力をお願いします。

18. 申請にあたって(P10)

(1)助成金の交付申請にあたっては、必要書類及び記載事項の漏れのないようお願いいたします。

必要な書類が添付されていない場合は、
助成対象外になりますので、ご注意ください。

18. 申請にあたって

(5) 申請書は審査資料となりますので、提出後変更が生じることのないよう、その内容について十分検討の上、作成してください。

提出後の書類の補正、差換えは受け付けません。

記入例(P29)

助成金交付申請書類の記入例 (複数年度助成事業)

送付日を必ず記入

年 月 日

公益財団法人
関西・大阪21世紀協会
理事長 崎元 利樹 殿

任意団体が組織（大学）内の場合は、その所属（学部・研究室等）まで記入

所在地：〒

事業を実施する団体名を記入

団体名：

必ず押印

今後の提出書類も同じ印を使用

代表者職・氏名：

印

記入例(P29)

2023年度 日本万国博覧会記念基金助成金交付申請書

下記事業について、関係書類を添えて日本万国博覧会記念基金助成金の交付を申請します。

記

1. 申請事業

事業名	50 字以内で事業名を記入		
助成申請額	全年度助成金申請総額 () 万円	2023 年度助成金 () 万円	
	申請する金額（全年度の総額）を記載 （助成対象費用の合計の 3/4 以内） 申請額は 2000 万円以下で 10 万円単位 総事業費の 5%以上	2023 年度 of 金額を記載（助成対象費用 の合計の 3/4 以内） 1 年度 of 上限は 1000 万円 総事業費の 5%以上	
2. 連絡窓口	役職名		
	ふりがな		
	印		

2. 連絡窓口

事務担当者	主担当者	役職名	申請額は2000万円以下で10万円単位 総事業費の5%以上		1年度の上限は1000万円 総事業費の5%以上	
		ふりがな				
		氏名				
		連絡先住所	〒			
		電話	()	—	FAX	() —
		e-mail				
	副担当者	役職名				
		ふりがな				
		氏名				
		連絡先住所	〒			
		電話	()	—	FAX	() —
		e-mail				

事務担当者の氏名・連絡先を記入
 事務連絡、採否の通知等は主担当者の方へ
 お伝えします。

※採択・不採択通知等の文書は主担当者の住所にお送りしますので、郵便番号・住所・所属団体等確実に届くよう記載してください。

記入例(P30)

3. 対象となる活動の区分

1) 活動区分

※必ず、どれかの項目にチェック☑してください

国際文化交流、国際親善に寄与する活動

☐ 国際交流に寄与する活動

☐ 国際協力に寄与する活動

教育、学術に関する国際的な活動

☐ 教育に関する国際的な活動

(2) 「優先採択テーマ」の確認

☐ 2025 年万博に向け、1970 年万博の理念を継承・発展させ、新たな時代の価値創造へとつなぐ活動として申請

☐ SDG s 目標 4 「質の高い教育をみんなに」のターゲット 4.1～4.7 に該当する活動として申請

※該当する ☐ ※該当する方のみ、該当する「優先採択テーマ」にチェック☑してください。

記入例(P30)

4. 実施概要

①事業の概要

期間	2年度 ☐ 3年度 ※該当する期間をチェック☑してください。
事業概要	何をするのかを、わかりやすく記述してください
	実施スケジュール（項目のみ記載してください。詳細は各年度の活動計画で記載してください。） 1年目： 2年目： 3年目： 実施内容の簡単に記載してください。 詳細は各年度計画書に記載してください。
事業の目的	審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

記入例(P30)

期待される効果	審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。
ホームページ	URL :
現在の準備状況	☐ 現在、計画・企画構想中。 ☐ 計画はできており、実施に向けて動いている。 ☐ 実施は決定して、詳細をつめている。
万博表示	☐ 万博表示する印刷物・HP等を記載してください。 例 ホームページ ポスター 100部 チラシ 10000部 等 該当するものを選択 ☒

以下実施形態は、3. 対象となる活動の区分 (1) 活動区分で、国際協力に寄与する活動を選択した方のみ記入してください。

実施形態	国外で実施する場合は、実施形態を記載してください。 ☐ 申請団体が渡航して実施する。 ☐ その他（具体的に記載してください）。 国際協力に寄与する活動を選択した方のみ記入してください。
------	--

※実際に事業を実施する団体が申請してください。日本の団体が申請し、現地の支部団体または提携団体が事業を実施する場合は、日本の団体ではなく支部団体または提携団体が申請してください。

4. 実施概要

① 事業内容・目的・期待される成果

事業内容	何をするのか（会議であればテーマ・議題・内容）をわかりやすく記述してください。 詳細については、③具体的な実施内容で記載してください。 審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。
事業の 目 的	何のためにこの事業を実施するのかを記述してください。 審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。
期待 される 成果	この事業を実施することでどんな成果を得ようとしているのかを記述してください。 審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

記入例(P31)

②事業の理念、万博理念との適合性

申請事業の理念

審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

1970年大阪万博の理念との適合性について記述してください。

※国際相互理解の促進に資する活動としての適合性については、必ず記述してください。

審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

日本との関係性（日本が申請事業を通じて相手国や国際社会に貢献していることを広くアピールできるポイント）について記述してください。

審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

③事業の発展性、社会への波及効果

事業を今後どのように発展させていくのか、また社会への波及効果を詳述してください。

審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

④「優先採択テーマ」への貢献

「優先採択テーマ」に該当する活動は、該当する「優先採択テーマ」にどのように貢献できるか具体的に記述してください。
(該当しない活動の場合は記入不要です)

「優先採択テーマ」の申請にチェック☑した方のみ記述してください。
審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

⑤広報計画

事業実施の広報計画を詳述してください。

新聞、テレビ、雑誌等メディアへの掲載予定
ポスター、チラシ等の制作等を記入

事業実施の成果について、どのように社会に発信していくかを詳述してください。

審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

⑥万博基金助成の必要性

万博基金の助成金が無ければ、事業はどうなるかお教えてください。

- ☐ 申請書通り実施
- ☐ 規模を縮小して実施
- ☐ 事業実施しない

該当するものを選択 ☑

記入例(P32)

各年度の活動計画

全ての年度の活動計画を記載してください。

○年度目の達成目標

審査の基礎資料となりますので、具体的にわかりやすく記入してください。

○年度目の事業内容

複数の活動を展開する場合は、活動ごとに下記項目を記載してください。(新型コロナウイルスの影響を見込んだ実施内容を記載してください。)

- ・当年度事業の概要
- ・実施スケジュール
- ・会場
- ・参加者数、入場者数 等

新型コロナウイルスにかかる以下の取り組みも必ず記載してください。

- ・感染防止の取組み
- ・緊急事態宣言等で参加者が集まらない場合の代替事業の実施(オンラインによる事業の実施等)

※代替事業を行う場合は、総事業費、助成対象事業費見込みがどれだけ増減するかも記載してください。

実施内容を具体的に記載してください。

実施にあたってのスケジュールは現時点でわかる範囲で詳細に記載してください。

例	○年○月	情報公開	○年○月○日	リハーサル
	○年○月～○月	参加者募集	○年○月○日	本番
	○年○月	プレイベント	○年○月	報告会

審査の基礎資料となりますので、新型コロナウイルスの対策や代替事業等を必ず記入してください。

記入例(P32)

実施地	国名・地名及び会場名を記入 実施場所を選んだ理由（ ）
実施者	実演者： 人 ※ (内日本国外の方： 人 カ国【国名】) 実施スタッフ： 人 ※ (内日本国外の方： 人 カ国【国名】) ※記入必須 事業のスタッフ人数を記入 日本国外の方の人数は必ず記入
入場者・参加者	入場者・参加者(期間中述べ人数) 人数： 人 (内日本国外の方： 人 カ国【国名】) 事業への来場者、参加者を記入 書籍、HP、映像制作等は、年間の利用者数を記入 日本国外の方の人数は必ず記入
料金	有料の場合 料金： 円 入場、参加料が有料の場合は、設定金額ごとに記入 (例) 会員 20,000 円 学生 10,000 円 無料の場合は記入する必要はありません。

5. 申請団体概要

記入例(P33)

ふりがな		ふりがな	
申請団体名		代表者 役職 氏名	
事業者の法人格	☐ 財団 ☐ 任意団体 ☐ 国立機関 ☐ その他	設立年月	年 月
ホームページ URL	http://		
団体設立目的	団体の設立目的等を記入		
沿革	設立から現在までの組織の変遷等を記入 例 〇〇年に設立。〇〇年に△△事業開始。〇〇年に□□と合併 等		

記入例(P33)

活動実績	これまでに行った主な活動等を記入
過去の日本万国博覧会記念基金助成金受領実績	☐有 ☐無 ※有の場合は、その年度、助成額、事業概要を記入してください。 (年度 助成額： 円) 事業概要：

※ 設立目的、沿革、活動実績等については、簡潔かつ具体的に記述してください。

添付書類

法人	定款 役員名簿 直近2か年の決算書
任意団体 (実行委員会等)	会則・規約等 役員名簿 申請事業について直近2回分の決算書 ※新規の場合は予算書

(注) A4用紙に統一 冊子不可

記入例(P34)

①助成事業収支予算表 (Total)

助成事業収支予算表

収入			支出		
	費目名	金額		年度別	金額
万博助成金	1年度目	5,000,000	助成対象事業費	1年度目	7,000,000
	2年度目	10,000,000		2年度目	10,000,000
	3年度目	13,000,000		3年度目	13,000,000
	小計	20,000,000		助成対象費用小計	30,000,000
その他収入	1年度目	3,800,000	助成対象外費用	1年度目	1,800,000
	2年度目	3,000,000		2年度目	3,000,000
	3年度目	5,000,000		3年度目	5,000,000
	小計	19,800,000		助成対象外費用小計	9,800,000
合計		39,800,000	合計		39,800,000

収入合計額と支出合計額を同額にしてください。

記入例(P34)

② 助成事業収支予算表 (各年度)

助成事業収支予算表

収入			支出		
収入 内訳	費目名	金額		年度別	金額
	万博助成金	5,000,000	助 成 対 象 費 用	印刷製本費	1,000,000
	※助成対象費用の75%以内 ※総事業費の5%以上			会場借上費	2,000,000
	その他収入			渡航費	2,000,000
1	自己資金	1,500,000		宿泊費	1,000,000
2	参加費収入	1,000,000			
3	協賛金	1,000,000		助成対象費用小計	7,000,000
4	他の助成金	300,000	助 成 対 象 外 費 用	事務局人件費	1,000,000
	収入内訳書の費目・金額と合 わせてください。			飲食費	500,000
				雑費	300,000
	小計	3,800,000		助成対象外費用小計	1,800,000
	合計	8,800,000		合計	8,800,000

助成金申請額と合
わせてください。

支出内訳書の費目・金額と
合わせてください。

収入内訳書の費目・金額と合
わせてください。

収入合計額と支出合計額を同額にしてください。

③ 収入内訳書(各年度) 記入例

収入内訳書

収入内訳1

費 目 名	内 訳	金 額
自己資金	手元資金	1,000,000
	〇〇州負担金	500,000
合 計	—	1,500,000

収入内訳2

費 目 名	内 訳	金 額
参加費収入	1,000 円×1,000 名	1,000,000
合 計	—	1,000,000

収入内訳3

費 目 名	内 訳	金 額
協賛金	1,000,000 円×1 団体	1,000,000
合 計	—	1,000,000

収入内訳4

費 目 名	内 訳	金 額
他の助成金	〇〇財団	100,000
	〇〇市	200,000
合 計	—	300,000

④ 支出内訳書 記入例 (各年度)

支出内訳

支出内訳1

費 目 名	内 訳	金 額
印刷製本費	チラシ@50 円×10,000 枚	500,000
	プログラム@300 円×1,000 部	300,000
	ポスター@200 円×1,000 枚	200,000
合 計	—	1,000,000

支出内訳2

費 目 名	内 訳	金 額
会場借上費	200,000 円×10 日	2,000,000
合 計	—	2,000,000

支出内訳3

費 目 名	内 訳	金 額
渡航費	国外招待 150,000 円×10 名	1,500,000
	国内招待 50,000 円×10 名	500,000
合 計	—	2,000,000

支出内訳4

費 目 名	内 訳	金 額
宿泊費	国外招待 10,000 円×10 名×5 泊	500,000
	国外招待 10,000 円×10 名×5 泊	500,000
合 計		1,000,000

申請書記載のポイント

記載事項は漏れなく正確に記載してください。

「評価項目についての記載欄」の記載に基づき審査を行います。具体的にわかりやすく記載してください。

「助成事業収支予算表」「収入内訳」「支出内訳」は、できるだけ詳しく、正確に記載してください。

申請書は審査資料となりますので、提出後変更が生じることのないよう、その内容について十分検討の上、作成してください。提出後の書類の補正、差換えは受け付けません。

申請書提出にあたっての注意事項

受付期間中(9月1日～30日)に必ず提出してください。
受付期間経過後は理由の如何を問わず受理しません。

提出は、必ず書留郵便等、発送の確認できるもので発送してください。
また、受領確認のお問い合わせはご遠慮ください。

申請書提出後に、書類の補正・差替えはできません。
提出前に必ず最終チェックをしてください。

ご清聴ありがとうございました。

公益財団法人関西・大阪21世紀協会



日本万国博覧会記念基金
2023年度
助成事業募集説明会

2022年7月27日(水)
15:30～

大阪工業大学 梅田キャンパス
OIT梅田タワー 常翔ホール